

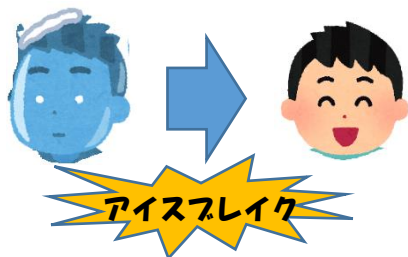
1回目の授業研究(4年)からの学び!(7月17日水)

協議会の視点

①教師のファシリテート



こどもの緊張



○前回作った単元デザインパネルをグループや全体で見合って緊張をほぐす!(前時の振り返り)
○席を立てて互いのを見合うなど、体を動かすことも効果的!

**アクティブな話し合いに向けて
ウォーミングアップ!**

どこまでこどもにゆだねる?



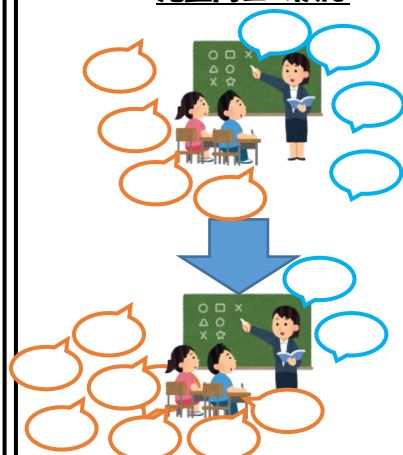
「どこまで」と考えがちですが、
「何をゆだねる」が大事!
「グループで話しあってごらん。」

↓
「グループで〇〇について賛成か反対か話し合ってください。」
「グループで〇〇について、どんな理由が考えられるか話し合ってください。」など

「何を」について教師側が具体的に考え、明確に児童に伝えることが大切!

教師の反応

ないがちな教師のオウム返し
→児童同士の反応



教師の介入を減らし、児童同士の対話時間を増やしていく!

大人の人も知らないことまで詳しく伝えたい!

協議会後の校長室で...

後半の話し合い(スライム式、グループ分担式、グループ全部式)→**決め手に欠けていた**なあ

そんなときは、**活動の目的や相手意識**など、**活動の根拠となる部分に立ち返る**こともありだったかもしれないなあ



家族や地域の大人に風水害の備えを伝えたい!
そして、備えてほしい!

②ふせんの活用

前時での活用がメイン
とても能動的!



本時

**導入でも生かされるとよかった
(アイスブレイクも兼ねて)**

協議会の板書

写真がぶれて
しまっていました!
ごめんなさい!

